

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年2月1日

事業所名 **サニーキッズ**

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者数に対するスペースは十分に確保できています。	年齢や状況に応じてクラス分けを行い、2階放デイの活動室も活用しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		基準に基づき職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		イラストや絵カードを活用し構造化された環境になっています。また、準備スペースと活動スペースを分けています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		子どもが帰った後、玩具等含めて室内の清掃・消毒を徹底しています。	リトミックや運動を行う際は、2階放デイの広い活動室を活用しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		事業計画の中間評価、進捗状況について職員にアンケートを実施しています。	職員からのアンケートを取りまとめ、業務改善の意識を高めるよう研修を実施しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回、保護者向けアンケートを実施し業務改善につなげています。	アンケートの集計結果はご家族に報告しています。今後は改善内容についても報告を行っていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ガイドラインに基づき、事業所向け自己評価及び保護者向け評価表について取りまとめ、ホームページにて公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			2年後に受審を予定しております。現在、評価項目による自主評価を行い準備を進めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員会議と合わせて事業所内研修を毎月行っています。	職員にアンケートを実施し意見を取り入れた研修計画を作成し実施しています。また、法人内研修・外部研修への参加に努めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			半年に1度、子どもと保護者に面談してアセスメントを行い得られたニーズや課題を検討会議にて分析し計画を作成しています。また必要に応じて保護者との面談やケース会議等で計画の見直し等も行っていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で統一されたアセスメントツールを活用しています。	アセスメントツールを活用し、必要に応じて項目や療育の見直しを行い、個々に合わせた適切な支援へとつなげていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援検討会議を実施し、必要な項目や具体的な支援内容を検討・設定しています	併行利用先の幼稚園や保育園を見学させていただき、情報交換・共有を行い連携して統一した支援ができるよう努めています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		子どもさん一人ひとりの児童発達支援計画を確認し子どもに合わせた目標を設定し支援を行っています。	事前打ち合わせや療育後の振り返り、ケース会議等で、支援計画に沿った支援が行えているか検証し改善に繋げていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年2月1日

事業所名 **サニーキッズ**

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		年間の予定表に基づき、プログラム担当者を定め、職員間で内容の検討と確認を行い月案を作成しています。	職員間で日案担当を振り分け、月案に基づいた活動プログラムの立案を行っています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節行事や創作活動、運動など様々なプログラムを提供し固定化しないようにしています。	新しい活動や季節の行事を積極的に取り入れ、子ども達が様々な経験ができるよう工夫していきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しています。	職員間で検討し子どもの状況に合った計画を作成しています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員朝礼後に活動内容等について打ち合わせを行い確認を行っています。	日案担当を中心に活動の流れや職員の役割等確認を行い情報を共有して支援にあたっています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に活動内容や子どもたちの様子等について振り返りを行っています。	振り返りでは全員が意見を言いやすい雰囲気作りを行っています。また、ヒヤリハット等についても情報共有を行っています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		支援計画に基づいた支援を行い、日々の記録や保護者からの話等も記録に残しています。	日々のケース記録を基に、必要に応じてケース会議を実施し、子どもの状況について検証し改善に繋がっています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとに保護者と面談を実施し、満足度を確認しながら評価を行っています。	モニタリングや面談の結果を元に検討会議を開催し見直しを検討しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、担当者が出席し情報共有を行っています。	担当者会議の内容を記録に残し、さらに職員会議等で報告することで共通理解を図っています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市の発達相談会やネットワーク会議に参加する等し、関係機関と連携を図っています。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	○	非該当	
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている	○	○	非該当	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報提供シートを活用し情報共有を行っています。また、幼稚園等見学を行った際に情報交換を行い相互理解を図っています。	今後は、入園前や転園前にも園との連携を行い、就園前支援についても検討していきます。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援の子どもはおりませんが、移行支援シートを活用し情報共有を行う体制を整えています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年2月1日

事業所名 **サニーキッズ**

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
こ の 連 携	⑲ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターや児童発達支援事業所で実施されている公開療育に積極的参加しています。また、法人内の発達支援センターと連携しています。	県こども総合療育センターの連絡会などにも参加し最新の情報収集や研修等にも参加しています。
	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		保育所や幼稚園との交流はありません。今後、地域の子どもと交流する機会を検討していきます。
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		法人代表が参加しており、会議等で内容を報告し職員へ周知を行っています。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳にて日々の情報共有を行っています。	日々の送迎時に加え、面談の際に子どもの状況や課題等について共通理解できるように努めています。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		ペアレント・トレーニング等の支援は行っていませんが、面談時にアドバイを行い、支援計画に家族支援を取り入れています。また必要な情報提供を行い提案させて頂いています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉔ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、運営規定や重要事項、利用者負担等の説明を行っています。また、変更等があった場合は、文書にてお伝えしています。	契約時に内容を分かりやすく説明し、安心して利用できるよう取り組んでいます。
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ています。ご家族用と事業用を用意し、それぞれ保管しています。	
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別面談時以外にも随時相談を受け付け、助言や支援を行っています。	送迎時の保護者の様子や表情にも気をかけて声をかけるようにしています。
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、保護者会は開催していませんが、組織づくりを含め、今後の課題です。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者や解決責任者、第三者委員を設置しています。苦情があった場合は対応マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応できるようにしています。	
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			法人だよりを年3回、事業所の活動プログラムを毎月発行し、予定や活動等を発信しています。
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し、職員への周知を行っています。また、契約時に個人情報の取扱いについて説明を行い、承諾を得ています。	不要となった書類等は、即、シュレッダーで処分しています。
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		絵カードや写真カードを活用し視覚的に工夫しています。	事業所で行っている方法を保護者へも伝えていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年2月1日

事業所名 **サニーキッズ**

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域の方を招待する取り組みは実施できておりません。今後の課題となります。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、研修等で職員へ周知しています。	保護者への周知については不十分であるため、今後の取り組みとして検討していきます。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○		毎月1回、避難訓練を実施する日を設け、非常災害や不審者等に対応できるように取り組んでいます。	毎月、訓練内容を変更するようにしています。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に、子どもさんの疾病やてんかん発作等を細かく聞き取り確認しています。 ・服薬が必要な際は、与薬依頼書の提出を求めています。	
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者から情報を聞き取り、必要に応じて医師の指示書提出を求めています。 ・対象児については、毎月の献立表と一緒に成分表をお配りし確認をお願いしています。	アレルギー食に対して個別対応が難しいため、食事提供先と十分な連携を図り慎重に対応していきます。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成し、対応策などを協議し朝礼や回覧等で周知を図っています。	毎月の職員会議のなかでも議題に取り上げ、情報の共有を図っています。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎日の朝礼で人権擁護ハンドブックの読み合わせを行い職員の意識を高めています。	毎年、外部講師による法人研修として権利擁護の研修を行っています。また、人権擁護委員会において、チェックリストを活用しています。
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、対象となる子どもがおりません。 ※ 身体拘束マニュアルや同意書を整備し、適切に対応できるようにしています。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月1日

事業所名 サニーキッズ

保護者等数(児童数) 22名 回収数 11名 割合 50%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	4	0	0	・ お友達とぶつかる等のことはあったようにも思いますが、特に気になるような話ではなかったように思います。	・ 今後も安全面に十分注意して見守りを行っていきます。また安心していただけるように、些細なことでも保護者の皆さまにお伝えします。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	0		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1	0	0		
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	10	1	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	2	0	0		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1	0	0		
	⑧ 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	9	2	0	0		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	2	0		
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	2	0	0		
	⑫ 保護者に対して「家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	6	5	0	0		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月1日

事業所名 サニーキッズ

保護者等数(児童数) 22名 回収数 11名 割合 50%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2	0	0	・ 小学校に上がったら児童デイも利用したい。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	3	0	・ 仕事の都合上、交流会等には参加できませんので、何ともお返事がしにくいです。 ・ 他のご家族の方と話す機会がないのでお話しする機会が増えると良いと思います。	・ 保護者の皆さまが交流できる場を計画していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	1	0	・ 幼稚園にも通っていますが、給食も療育内容も幼稚園よりも好きと言っています。連絡帳で毎日の活動が把握できるので安心できます。夏休みの通所日数を増やして頂いたのも助かりました。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか						
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	0		
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	1	0	0		
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1	0	0		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1	0	0	・ とても楽しみに通えています。 ・ お誕生会は見たい気もします	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8	3	0	0	・ 無理だとは思いますが、保育園への送迎があるとうち少し通うことができるので嬉しいです。子どもがサニーキッズへ行く日は、体をとても動かすのかすぐ寝ます。きっと楽しいのだと思います。いつもありがとうございます。	・ 「保育園への送迎」につきましては当事業所の職員態勢上、厳しい状況です。誠に申し訳ございませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。